FRESCOBALDI
TOSCANA

Gorgona 2021



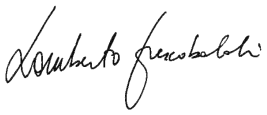
Formati

FRESCOBALDI
TOSCANA

Gorgona 2021

Costa Toscana IGT

「トスカーナ群島は地上の楽園であり、中でもゴルゴーナ島は最も野性的でルミネセンスなアフロディテの真珠といえる。この、一見気難しそうな姿の裏に隠された言葉では表現できないほどの魅惑的な香りと静寂さ、自然の力強さと永遠の若々しさに心を動かされる。そして、空からのメッセージを映し出し、帆綱をきつく縛める海がその周りを囲む。」（アンドレア・ボチェッリー2014）ゴルゴーナ・プロジェクトは、フレスコバルディとヨーロッパで唯一の刑事施設として存在する島、ゴルゴーナ島との協力により2012年8月に誕生しました。この島で受刑者は、社会的・労務的復帰を容易にする職業訓練を行うため、自然と触れ合い働きながら、刑期の最終期間を過ごします。海が一望できる、すり鉢状の地形の中心にある小さなブドウ畑からこのプロジェクトは始まりました。フレスコバルディに従事する農学や醸造の専門家たちの指導と協力のもと、ブドウ栽培分野の具体的経験と実践を受刑者に与えることを目的としています。現在は2ヘクタールのブドウ畑があり、うち1ヘクタールはプロジェクト開始時に、もう1ヘクタールは2015年に植樹しました。この畑では、ヴェルメンティーノとアンソーニカのブドウが栽培されゴルゴーナが造られます。唯一無二の土地と作り手の結晶であり、自由と希望のシンボルです。ゴルゴーナ・ロッソは2015年に収穫・披露されました。サンジョヴェーゼとヴェルメンティーノ・ネロの品種を有機栽培し、テラコッタ製の壺で熟成させていきます。ゴルゴーナのラベルには、毎年異なる表情を見せるこの島の「スペシャルエディション」でありたいという想いが込められています。ゴルゴーナ2021は、10年目となる収穫を表現し、トスカーナ群島の7つの島の中で最も小さく、海に浮かぶ孤高の上陸地点であるこの島に捧げます。ここを訪れると、島との一体感を感じ、強い感動を覚えます。ゴルゴーナ島では、人は自然と調和しながら大地と触れ合い、尊厳が生まれ、未来への希望を見いだします。異なる歴史や背景を持つ人々がここでようやく同じ言葉を話し、「おいしさ」に満ちた社会的プロジェクトという高き目標のためにカと技を集結させるのです。10回目の収穫は、このプロジェクトに携わり語り継いできたゴルゴーナの人々やその責任者、関係当局、警察、指導者、協力者、スポンサー、そして何より新たな技術を学ぶこと、教えることに賭けた受刑者と醸造家に捧げます。唯一無二の素晴らしいプロジェクトです。ゴルゴーナは鉄分が豊富な土壌から生まれ、理想的な東向きに位置し、風から守られた2ヘクタールの小さなブドウ畑です。1999年に初めて植樹され、その後2015年、2018年と続いて植樹され、このワインの紛れもない主役であるアンソーニカとヴェルメンティーノが育つブドウ畑です。ゴルゴーナにはこの島の要素すべてが凝縮されています。



気候動向

秋と冬は平年並みの気温となり、特に11月に集中した豊富な雨量を特徴としたことにより、土壌に必要な水分を確保してくれました。ゴルゴーナでのブドウ樹の萌芽は、この島特有の早期となる3月最終週に始まりました。4月初旬に見られた気温低下は海の影響により和らぎ、ブドウは順調に成長しました。5月は非常に降水量が多く、6月と7月は例年よりやや低い気温となったことで、8月中旬の猛暑を特に問題なく切り抜け、素晴らしい状態で収穫を迎えました。ヴェルメンティーノの収穫は9月第1週目の後半から開始され、昼夜の寒暖差を特徴とし、アンソーニカの収穫は9月最終週の前半から始まりました。

説明技術的な注意事項

ゴルゴーナ2021は、温かな太陽と安定して吹くそよ風、潮の香りという海の感覚に包み込まれるようなワインです。黄金色に輝き反射する美しい麦わら色をしています。地中海の灌木やエニシダ、マスティック、ハーブの香りがセイヨウサンザシ、カモミール、フリージアの香りと一体となる豊かなブーケです。バナナやパイナップル、トロピカルフルーツなどのフルーティな香りが美しく融け合い、最後にグレープフルーツやシードルなど非常に爽やかな柑橘の香りを感じられます。口に含むと、爽やかさとまろやかさが調和する豊かな風味が印象的です。こうした特徴から10年目となるヴィンテージ2021でも、海との強い繋がりを感じられ、この海の真ん中の小さな島で夢を見させ、愛おしく思わせてくれます。